



長浜恵子
Keiko Nagahama Piano



ダニエル・ルービンシュタイン
Daniel Rubenstein Violin



神田望美
Nozomi Kanda Flute



ラファエル・オブリ
Raphael Aubry Viola



アレキサンダー・ドミトリエフ
Alexandre Dmitriev Cello



樋口誠
Makoto Higuchi Contrabass

ベルギーで18年続く音楽祭が東京へ

2023年11月3日(金・祝)

Program

W.A. モーツァルト：フルート四重奏曲 第2番 作品285a ト長調 / W.A. Mozart : Flute Quartet No.2 K.285a G-dur

E. シュルホフ：フルート、ヴィオラ、コントラバスのための小協奏曲 作品75 / E. Schulhoff : Concertino for flute, viola and double bass WV.75

J. ジョンゲン：ピアノ三重奏のための2つの小品 作品95 / J. Jongen : Deux Pièce en trio pour piano, violon, et violoncelle Op.95

F. シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」 D.668 イ長調 / F. Schubert : Piano Quintet "Die Forelle" D.668 A-dur

曲目は予告なく変更させて頂く場合がございます

2023 ~ Festival Mozart Waterloo in Tokyo ~

ワーテルロー音楽祭東京公演

18:30開場 / 19:00開演

ルーテル市ヶ谷ホール / Lutheran Ichigaya Hall

Tickets : 一般4,000円 学生2,000円

主催 : Le Vent des Muses e-mail : leventdesmuses@gmail.com

賛助 : WBI 後援 : ベルギー王国大使館、(公財)読売日本交響楽団、(株)宮地楽器、(社)全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

桐朋学園音楽部門同窓会、Fグループ フェリス女学院大学音楽学部同窓会、島村楽器株式会社

プロフィール — Profile



アルジャントウイユ城でのワテルロー音楽祭（ベルギー）

ワテルロー音楽祭

ワテルロー音楽祭は、欧州連合（EU）の首都ベルギーのワテルローで行われている室内楽国際音楽祭（原名 Festival Mozart in Waterloo）です。1995年に元ベルギー国立管弦楽団コンサートマスターでアントワープ音楽院教授だったジェロルド・ルービンシュタイン、ピアニストのダリア・ウジェルによって立ち上げられました。以来、世界第一線で活躍するアーティストや、未来の期待あふれる若手音楽家など、120人以上のアーティストと180以上の演奏会が行われています。ワテルロー市はあのナポレオンが敗れた「ワテルローの戦い」で有名な街。同じ古戦場がある街として、愛知県長久手市と姉妹都市となっています。2020年には長久手市でワテルロー音楽祭が開催される予定でしたが、コロナ禍により2023年10月に延期となりましたが、同時期に横須賀芸術劇場にて開催されたYMSAとのコラボレーション「ベルギーからの贈り物 Vol.1」が実現。そしてこの度は縁あって第1回東京公演の開催となります。

長浜恵子 ピアノ Keiko Nagahama piano

3歳よりピアノを始め、ピアノを福守光恵氏、金澤希伊子氏、野瀬百合子氏に、ソルフェージュを西岡隆彦氏、室谷章氏に師事。雙葉中学校を経て、桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）及び桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。ピアノを金澤希伊子氏に、室内楽を藤井一興氏、故ゴルトベルク山根美代子氏に師事。渡仏後、国立リュエイク・マルメゾン音楽院にてC.リウ氏に師事。最短期で第1位を得て卒業。パリ高等音楽院（現CRR de Paris）最高等課程に入学、同音楽院にてO.ギャルドン氏に師事、更に研鑽を積む。また室内楽をF.ベヌティエ、M.F.ジレの両氏に、伴奏法をC.ルオー氏に師事。ソロだけでなく、室内楽、伴奏においても意欲的に演奏活動を行う。フランス・パリ市内にてソロ・リサイタル、アンサンブル・シミアエとして室内楽トリオの関東コンサートツアー、またパリ市立フレデリック・ショパン音楽院主催作曲コンクールにてピアノ演奏者を務める。帰国後、日本においても精力的に演奏活動を開始。ヴァイオリニスト川口祐真氏とのデュオコンサートシリーズ「音楽の宝箱」を定期的に開催。2011年フランス・パリ市、および東京オペラシティにてソロ・リサイタル開催し、好評を博して以降、東京オペラシティ、浜離宮朝日ホールを始め、定期的に各地でソロリサイタルを行う。また2011年ベルギーにて「東京ブリュッセルトリオ」（フルート/神田望美、チェロ/ニコラ・デルタイユ）結成第1回演奏会、2012年東京・横浜にて同トリオ日本初公演、2014年、2016年とベルギー公演と日本ツアー公演、2018年、2019年に東京公演を開催。2015年にはベルギーにてCD録音を行う等、国内外を問わず幅広く演奏活動を行う他、後進の指導にもあたっている。都留文科大学非常勤講師。

アレキサンダー・ドミトリエフ チェロ

Alexander Dmitriev - cello

ウクライナ・キエウ出身。6歳よりチェロを始め、1981年キエウ音楽院の「才能ある子供たち」特別音楽学校を修了。同年モスクワ音楽院に入学。レフ・エフグラフフォフ、ヴァレンチン・ベルリンスキー各氏に師事。1985年にはロシア国立チェロコンクールで第2位を獲得。

1986年に学業を終え、ユーリ・バジュメット指揮下の「モスクワ・ソリスト」アンサンブルに加わり、1987年に初のソロ・チェロとなった。これまでにヨーロッパ、米国、日本、オーストラリアでのツアーに参加し、最も有名な室内楽フェスティバルにソリストとして参加している。

1991年からフランスに移住し、1996年からモンペリエ国立管弦楽団（ONM）の首席チェロを務める。室内楽奏者としても活躍する傍ら、モンペリエ国立管弦楽団、ウクライナ国立管弦楽団、カンヌ地方管弦楽団、ヨーロッパのソリスト管弦楽団、ワグナー室内管弦楽団などでソリストとしても演奏している。録音にはヴィヴァルディ、エネスコ、フォーレ、ショパン、シュトラウス、ラフマニノフ、ショスタコ维奇の作品などがある。ワテルローのモーツァルトフェスティバルには初回より20回以上出演している。

ダニエル・ルービンシュタイン ヴァイオリン

Daniel Rubenstein Violin

ブリュッセル生まれのベルギー拠点に活躍するヴァイオリン・ヴァイオラ奏者。幼少時よりヴァイオリンを父J.ルービンシュタインの下で初め、数々のコンクールにて優勝・入賞。15歳でムンディ・ロダン指揮の下ベルギー国立管弦楽団と共演以来、ベルギー放送響（RTBF）、アイルランド放送響、ベルギー王立ワロン室内楽団、カスカイス室内楽団（ポルトガル）、オエイラス室内楽団（ポルトガル）、フランダース交響楽団などと共演。ヴァイオラでインディアナ大学（米）オーケストラと共演。これまでにヨーロッパ各国始め、北米・南米、トルコ、イスラエル、チュニジア、韓国、日本でも演奏している。

王立ブリュッセル音楽院にてP. ヒルシオン氏に師事。ヴァイオリン科高等資格課程名誉授賞し修業後、奨学金を得てN.チュマチェンコ氏の下で研鑽を積み、その後渡米。M.フリッド、F.グーリー各氏に師事する傍ら、ヴァイオラをA.アラド氏の下で始める。定期的にB.ベルキン氏のマスタークラスに参加。

室内楽・ソロともに10代よりベルギー、欧州、中東、南北米各国で演奏を行い、現在ではモーツァルトフェスティバル（ワテルロー音楽祭）の音楽監督を務め、これまでに堀込ゆづ子、オリヴィエ・シャルリエ、エル・パシャ各氏など数多くの著名な音楽家と共演する他、国内外のラジオ、テレビにも多数出演。後進の指導として、マスタークラスをヨーロッパ各国、トルコ、イスラエル、チュニジア、韓国、日本にて行い、モンズ王立音楽院、ブリュッセル音楽院にて教鞭を取るほか、ベルギー国内音大始め、パリ・エコールノルマル音楽院など国外の試験審査員もしている。

神田望美 フルート Nozomi Kanda - flute

ベルギーを拠点に活動するフルート・篠笛奏者。欧州各国、中東において多くの音楽祭・シリーズに出演し、日本でも、横浜みなとみらい小ホール、東京オペラシティリサイタルホールなどで室内楽演奏会を行う。師であるマルク・グロウエウス氏、西川浩平氏をはじめ、パスカル・モラガス氏、フランシス・オルヴァル氏など著名な音楽家と共演。ベルギー・国営ラジオでゲストコメンテーターを務めた他、フランス、ドイツ、ノルウェー、チュニジア、スイスなど各国のメディアに出演・掲載される。

フルート専攻の傍ら篠笛を学び、藤倉流名取（藤倉理白）をもつ。クラシック、ワールドミュージックなど多分野で活躍し、和楽器と西洋楽器の融合に取り組むなど活動も幅広く、David Loeb氏（米）、Jan Freidlin氏（イスラエル）など海外作曲家によるフルート・篠笛独奏曲、室内楽曲の献呈作品の初演も多い。クラシック室内楽、和楽器を使った日本の音楽など、計4点のCDをリリース。ナクソス・アマゾンからも販売中。

ディナン夏期国際音楽講習会講師のほか、これまでにフランス、ノルウェー各地でセミナー・ワークショップの講師を務め、ブリュッセル・パリで篠笛教室を主宰。大型エキスポJapanExpo（パリ）を始め、篠笛・邦楽・和楽器を紹介する活動も行なう。高橋あかね、故植村泰一各氏に師事後、フェリス学院大学音楽学部にて故西沢幸彦氏、王立モンズ音楽院にてマルク・グロウエウス氏に師事。ヴァンサン・リュカ、ヴァンサン・コルトプリント各氏に定期的に師事。篠笛・能管を西川浩平、藤倉理生各氏に師事。王立ブリュッセル音楽院教職課程修了。

ラファエル・オブリ ヴィオラ Raphael Aubry - viola

1972年サレーヌ生まれのラファエル・オブリは、フランス/スイス国籍のヴァイオリン・ヴィオラ奏者。ラファエル・オブリは、ベルサイユのCNRでアントワヌ・グラールとジャン・フランソワ・ゴンザレスのクラスでヴァイオリンと室内楽で2つの一等賞を獲得した後、ロッテルダム音楽院にてジャン＝ジャック・カントロウの下で勉強を続ける。またヴァレンティン・ベルリンスキー（ポロディン四重奏団）の指導も受ける。シラフ財団の受賞者、アテネ四重奏団のメンバー（2000年～2009年）、ブレ修道院のアーティスト・イン・レジデンス（2001年～2002年）

ラファエル・オブリは室内楽奏者およびソリストとして、オペラ・バスターニエ、シャンゼリゼ劇場はじめ、サル・ガヴォー、サル・コルトーなど、フランス国内外の多くの主要劇場、音楽祭で演奏しており、モーツァルト・ワテルロー音楽祭始め、モスクワ、サンクトペテルブルク、イズミル、イスタンブール、アテネ、ヴェネツィアなど多くの都市で演奏。マルク・ルイサダ、ドミニク・ド・ヴィリアンクール、ジャン・フェランディス、エマニュエル・ロスフェルダールなど著名な音楽家と共演している

パリ・オペラ座リサイタル室内管弦楽団に招聘され、ロイヤル・オペラ・オーケストラのコンサート・デ・ラ・ロージュ（古楽器アンサンブル）のメンバー。また、カメラータ・テリナ管弦楽団、イスラエル・シンフォニエッタ、イスタンブール国立管弦楽団とソリストとして協演。また数多くの室内楽の録音がある

樋口誠 コントラバス Makoto Higuchi - Contrabass

広島県福山市出身。高校よりコントラバスを始め、エリザベト音楽大学に聴講生として在籍。コントラバスを長谷川悟氏に師事する。またL.シュトライヒャー、F.ベトラッキ各氏のレッスンも受講する。

1992年新星日本交響楽団に入団。同楽団とコンチェルトの共演や新曲の初演、1996年には故郷である福山市にてソロリサイタルを開催するなど多方面で活動を行う。

その後、1999年読売日本交響楽団に入団し現在に至っている。2003年には再び福山市にてソロリサイタルを開催し好評を博す他、2018年、コントラバス四重奏「La STELLA Quattro di bassi」でCDをリリース。第49回福山音楽祭において、チェコ・フィルハーモニー弦楽四重奏団と共演するなど、室内楽分野でも活動の幅は広い。

読売日本交響楽団コントラバス奏者、Biedermeier Salon Ensemble主宰。新星ハーモニー代表。

■ご予約・ご購入■

この度の演奏会はチケットレス（ペーパーレス）となります。右のQRコードより、必須事項をご記入、お支払い頂き、予約受付完了となります。当日、受付にてご購入された方のお名前をお申し出ください。当日お取り置きのご予約はございませんが、残席がございました場合には、当日受付にて販売いたします。

お問い合わせ
leventdesmuses@gmail.com



■アクセス ルーテル市ヶ谷ホール

/ Lutheran Ichigaya Hall

地下鉄有楽町線・南北線市ヶ谷駅下車

5.6番出口より徒歩1分

JR中央線 市ヶ谷駅下車 徒歩5分

駐車場が限られていますのでお車でのお越しはご遠慮下さい。

